

ラビット通信



こんにちは！ようやく涼しくなってきましたね。
今年は外出もままならず、季節が感じにくいですが
秋の気配をしっかりと感じていきたいなと思っています。
感覚を鋭くしておかないと、春と秋があっという間に
過ぎてしまいますものね！

先日、お客様に頂いた記事の情報を皆様にもおすそ分け
させていただきます。それは7月の朝日新聞の記事で
「ジャーナリストの田原総一郎さんが補聴器デビュー」と
いう物です。4年前に鳥越俊太郎さん（すでに補聴器）に勧め

られていたそうですが、先延ばしにしていたそうです。
やはり自覚はなく娘さんや周囲の方に言われて装用を
始めたようですが、ご自身安心感やコミュニケーションが
スムーズになったそうです。そして怒りっぽくなくなったそ
うです。また記事にはジャーナリストらしく日本の普及率の
低さや国の助成金の低さなども載っています。

難聴の様々なリスクも慶應義塾大学の小川教授に触れていま
すが、田原総一郎さんの様に発信力・影響力のある方が
難聴リスクについて知っていただくことは素晴らしいことだ
なと思います。

狭山市でも補聴器の助成金への署名運動も広がっています。
現在狭山市長への嘆願書名は1000名を超えたそうです。
当店も協力をしています。少しずつでも普及が増えていくと
いいですね！



補聴器のラビット

埼玉県狭山市狭山台1-18-11 ☎04-2001-9144

補聴器つけて、気持ちおだやか 昨秋デビューの田原総一郎さん

有料会員記事

2020年7月27日 5時00分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷



ジャーナリストの田原総一郎さん（86）が補聴器を使い始めました。日本は欧米に比べて補聴器の普及率が低く、つけない理由は「わずらわしい」「恥ずかしい」など。田原さんも「めんどくさくて」先送りにしていたそうですが、昨秋からつけてみると気持ちに変化が生まれたと言います。（才本淳子）

田原総一郎氏、85歳で補聴器デビュー 『朝生』での聞き取り漏れの多さ視聴者が指摘

2019年11月7日 16:30 ツイート いいね! 12



実はご家族や周囲の意見よりも
テレビ視聴者からのご指摘が
補聴器へ踏み切らせたそうですよ！
さすがの田原さんでも装用までに
4年以上かかっていますね。

出典元 <https://twitter.com/namatahara>
朝日新聞 令和2年7月27日

予約のお願い

電話予約 04-2001-9144

（営業時間10時～17時）

皆様の健康の為、十分な対策をとっていく所存です。
お手数ですが、ご協力をよろしくお願い致します。